

資料一 1 調査団員・氏名

1. 基本設計調査

氏名	担当業務	現職
蔵本 文吉	総括	国際協力事業団 無償資金協力部 計画課長
小宮 雅嗣	業務主任/運営維持管理計画	八千代エンジニアリング(株)
加藤 卓	番組制作機材計画	八千代エンジニアリング(株)
本吉 知司	送信設備計画	八千代エンジニアリング(株)
田中 清房	調達計画/積算	八千代エンジニアリング(株)
新井 忠雄	通訳	八千代エンジニアリング(株)

2. 基本設計概要書現地説明調査

氏名	担当業務	現職
外川 徹	総括	国際協力事業団 象牙海岸共和国 事務所事務所長
坂部 英孝	計画管理	国際協力事業団 無償資金協力部 業務第三課
小宮 雅嗣	業務主任/運営維持管理計画	八千代エンジニアリング(株)
加藤 卓	番組制作機材計画	八千代エンジニアリング(株)
新井 忠雄	通訳	八千代エンジニアリング(株)

資料－2 調査行程

1. 基本設計調査

日順	月/日	曜日	宿泊地	調査内容	備考
1	10/14	日	パリ	東京→パリ(AF275、12:30-17:40)	
2	10/15	月	ワガドゥグ	パリ→ワガドゥグ(AF730、11:00-16:20)	
3	10/16	火	同上	JOCV調整員事務所での安全管理ブリーフィング 情報省、国営ラジオ放送局(RNB)および農村ラジオ放送局(RR)への表敬、ならびにインセプションレポート、質問表の提出・説明・協議 RNB施設の調査	
4	10/17	水	同上	グンゲン送信所およびカンボワンセン送信所調査 市場調査	蔵本団長: ワガドゥグ着(AF730、16:20)
5	10/18	木	同上	JOCV調整員事務所との協議 情報省、国営ラジオ放送局(RNB)および農村ラジオ放送局(RR)への表敬・協議 情報省調査計画局長および情報省次官への表敬 情報省職業訓練情報センター(CFPI)訪問 市場調査	
6	10/19	金	同上	RNBおよびRR施設の調査 情報省、RNBおよびRRとの協議 M/D(案)提出・説明・協議 市場調査	
7	10/20	土	同上	カヤ地域現地調査	
8	10/21	日	同上	収集資料整理、M/D(案)修正	
9	10/22	月	同上	M/D締結 JOCV調整員事務所との協議 情報省、RNBおよびRRとの協議 市場調査	
10	10/23	火	同上	経済財務省との協議 RNBおよびRR施設の調査 市場調査	蔵本団長: ワガドゥグ発(2J311、08:00) 在象牙海岸国日本大使館およびJICA事務所報告 アビジャン発(AF703、22:50)
11	10/24	水	同上	経済財務省との協議 保健省、教育省、農業省との協議 税務局、中央税関、商工会議所との協議 RR施設、カンボワンセン送信所調査	
12	10/25	木	同上	輸送会社との協議 RR施設、グンゲン送信所の調査 市場調査	
13	10/26	金	同上	情報省との協議 商業・企業促進・工芸省との協議 輸送会社との協議	
14	10/27	土	同上	情報省との協議 団内打合せ、収集資料整理	
15	10/28	日	同上	団内打合せ、収集資料整理	
16	10/29	月	同上	保健省、教育省、農業省の放送スタジオ調査 国営テレビ局調査、情報省との協議、情報省次官表敬	
17	10/30	火	同上	市場調査 収集資料整理	
18	10/31	水	アビジャン	ワガドゥグ→アビジャン(2J311、07:00-09:45) 在象牙海岸国 JICA事務所報告	
19	11/1	木	アビジャン	アビジャン港視察・調査	
20	11/2	金	機中	アビジャン→パリ(AF703、22:50-06:10)	
21	11/3	土	機中	パリ→(東京)(AF276、13:15)	
22	11/4	日	—	東京着(08:59)	

2. 基本設計概要説明調査

日順	月/日	曜日	宿泊地	調査内容	備考
1	1/6	日	パリ	坂部・小宮・加藤・新井: 東京→パリ(JL405、11:10-15:40)	
2	1/7	月	ワガドゥグ	パリ→ワガドゥグ(AF728、16:20-21:00)	坂部: パリ→アビジャン(AF702、 14:00-19:35)
3	1/8	火	同上	小宮・加藤・新井: 協力隊調整員事務所にて安全ブリーディング 情報省、国営ラジオ放送局、農村ラジオ局への表敬、 B/D報告書(案)説明(特に機材仕様)	外川団長、坂部: JICA「象」国事務所、在「象」国 日本大使館にて打ち合わせ
4	1/9	水	同上	小宮・加藤・新井: RNB、RRにてB/D報告書(案)説明(特に機材仕様)	坂部: アビジャン→ワガドゥグ
5	1/10	木	同上	経済財務省への表敬、情報省、国営ラジオ放送局、農村ラジ オ局への表敬・協議、B/D報告書の内容について協議	外川団長: アビジャン→ワガドゥグ
6	1/11	金	同上	国営ラジオ放送局、農村ラジオ局への表敬、情報省への表 敬およびミニッツ説明・協議、UNDP/UNICEF事務所表敬	
7	1/12	土	同上	グンゲン送信所および現地調査(地方村落でのラジオ聴取状 況)・団内打ち合わせ・資料整理	
8	1/13	日	同上	団内打ち合わせ・資料整理	
9	1/14	月	同上	情報省にてミニッツ協議、ミニッツ署名(情報省)、外務省表 敬	新井: ワガドゥグ→パリ(AF735、 16:27-22:50)
10	1/15	火	アビジャン	外川団長・坂部・小宮・加藤: ワガドゥグ→アビジャン(2J211、08:00-10:25) JICA事務所報告	新井: パリ→東京(JL406、 18:05-13:55)
11	1/16	水	機中	大使館報告、アビジャン港調査 坂部・小宮・加藤: アビジャン→(AF703、22:50-)	
12	1/17	木	機中	→パリ(AF703、-06:10) パリ→(JL406、18:05-)	
13	1/18	金	—	東京着(13:55)	

資料－3 関係者(面会者)リスト

関係者(面会者)リスト

情報省

Ministère de la information

Mr. Adama Barro	情報省次官
Mr. Seydou Drame	計画調査局局長
Mr. Nuuyibe Benoit Meda	計画調査局局長代理
Mr. Sawadogo Ignace	ラジオ局担当主任

国営ラジオ放送局 (RNB)

Radio Diffusion Nationale du Burkina

Ms. Mafarma Sanogo	局長
Mr. Ilbouda Rolauol	技術主任
Mr. Abdoul Salem Ouedraogo	技術主任
Mr. Bigobert Ilboudo	CAC アナウンサー

農村ラジオ放送局(RR)

Radio Rural Du Burkina

Mr. Alphousseni Bassolet	局長
Mr. Boureima Savadogo	編集局長
Mr. Lamoussa K. Robgo	ジャーナリスト
Mr. Bayala Andre	技術課長
Mr. Abdre Mine	技術主任
Mr. Kiema Aime	技術主任
Mr. Tall Ahahidi	技術主任
Mr. Zagre Davier	技術担当

グンゲン送信所

Station Emetteur de Gounghin

Mr. Kabore Seydou	所長
Mr. Zouna Kincent	技術担当

カンボワンセン送信所

Station Emetteur de Kambowansen

Mr. Sonda Eloi	所長
Mr. Ouearaogo Gabriel	所員

情報省研究教育研修局
Centre de Formation Professionnelle du Ministère de L'Information
Mr. Noel Dah 所長

外務省
Ministère Plénipotentiaire
(アジア、大洋州担当課
Direction Asie, Pacifique, Caraïbes)
Mr. Balma Lamoussa Ambroise 課長

経済財務省
Ministère de la l'Economie et des Finances
(対外協力課
Direction Générale de la Cooperation:DEGCOP)
Mr. Alexis Koudnoaga Yanogo 二国間協力担当主任(DEGCOP)
Mr. Songré Etieme Yamego 二国間協力課長(DEGCOP)
Mr. Gadiaga Adou Oumarou 対外協力課主任 (DEGCOP)
Mr. Abdoulaya Zongo 予算計画主任

(税務局
Direction Générale de Impots)
Mr. H.Habass Trace VAT 担当主任

(中央税関
Direction Générale des Douanes)
Ms. Somda Marie Antoinette 検査主任

輸入管理局
Centre Des Guichets Uniques
Mr. Oulai Luther Diapagri 主任

保健省
Ministère de la Santé
Mr. Boukary Frank Ouedoraogo 主任
Mr. Demda Andre Hilou 放送番組製作担当
Mr. Louque Kou 教育担当

農業省
Ministère de l'Agriculture
Mr. Rene Bougousare 課長
Mr. Some Jean Louis 放送番組製作担当

基礎教育識字省

Ministère de l'Enseignement de base et de l'alphabétisation

Mr. Nassouril 放送番組製作担当

Mr. Maigo 同上

国連 UNDP

Programme des Nations Unies pour le Développement

Ms. Henriette Keijzers 副所長

UNICEF

Mr. Sanogo 情報・通信部門担当

在象牙海岸共和国日本国大使館

黒川 祐次氏 大使

生駒 聡氏 書記官

ブルキナ・ファソ JOCV 調整員事務所

福井 慶則氏 調整員

結城 亜津子氏 調整員

椿 みち子氏 シニア隊員

JICA 象牙海岸共和国事務所

外川 徹氏 所長

青木 利道氏 次長

安藤 ンジャイ 真由美氏 所員

資料－４ 当該国の社会経済状況

	ブルキナ・ファソ
	Burkina Faso

一般指標					
政体	共和制	*1	首都	ワガドゥグ	*2
元首	大統領／ブレイズ・コンパオレ	*1,3	主要都市名	ボボジウラツ、クドゥグ	*3
			労働総数	5,454 千人 (1999 年)	*6
独立年月日	1960 年 8 月 5 日	*3,4	義務教育年数	7 年間 (年)	*13
主要民族／部族名	モン族、グルマンチェ族、ヤルセ族等	*1,3	初等教育就学率	39.6% (1997 年)	*6
主要言語	フランス語、モン語、ディウラ語	*1,3	中等教育就学率	% (1997 年)	*6
宗教	伝統的宗教 57%、回教 31%、キリスト教 12%	*1,3	成人非識字率	77.0% (2000 年)	*13
国連加盟年	1960 年 9 月 20 日	*12	人口密度	40.19 人/km ² (1999 年)	*6
世銀加盟年	1963 年 5 月 2 日	*7	人口増加率	2.4% (1980 年)	*6
IMF 加盟年	1963 年 5 月 2 日	*7	平均寿命	平均 46.10 男 45.10 女 47.00	*10
国土面積	274.00 千 km ²	*1,6	5 歳児未満死亡率	210 (1999 年)	*6
総人口	10,996 千人 (1999 年)	*6	カロリー供給量	2,121.0cal/日/人 (1997 年)	*10

経済指標					
通貨単位	CFA フラン (Franc)	*3	貿易量	(年)	
為替レート	1US\$=720.67 (2001 年 9 月)	*8	商品輸出	百万ドル	*15
会計年度	Dec. 31	*6	商品輸入	百万ドル	*15
国家予算	(1993 年)		輸入カバー率	4.5(月) (1999 年)	*14
歳入総額	百万 CFA フラン	*9	主要輸出品目	綿、金	*1
歳出総額	百万 CFA フラン	*9	主要輸入品目	資本財、食料品、石油製品	*1
総合収支	百万ドル (年)	*15	日本への輸出	5 百万ドル (2000 年)	*16
ODA 受取額	397.5 百万ドル (1998 年)	*18	日本からの輸入	8 百万ドル (2000 年)	*16
国内総生産 (GDP)	2,580.15 百万ドル (1999 年)	*6			
一人当たり GNP	240.0 ドル (1999 年)	*6	総国際準備	298.2 百万ドル (1999 年)	*6
分野別 GDP	農業 31.3% (1999 年)	*6	対外債務残高	1,518.0 百万ドル (1999 年)	*6
	鉱工業 28.3% (1999 年)	*6	対外債務返済率(DSR)	15.7% (1999 年)	*6
	サービス業 40.4% (1999 年)	*6	インフレ率	6.1%	*6
産業別雇用	農業 男 % 女 % (1996 年)	*6	(消費者価格物価上昇率)	(1990-99 年)	
	鉱工業 % % (1996 年)	*6			
	サービス業 % % (1996 年)	*6	国家開発計画	貧困削減成長ファシリティー	*11
実質 GDP 成長率	3.8% (1990 年)	*6			

気象 (1961 年～1990 年平均)		観測地:ワガドゥーグー(北緯 12 度 21 分、西経 1 度 31 分、標高 306m)												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計	
降水量	0.1	0.8	5.0	24.0	73.5	108.5	183.4	218.4	136.3	31.6	0.6	0.5	782.7mm	*4,5
平均気温	24.7	27.7	30.9	32.6	31.6	29.3	27.2	26.3	27.0	28.8	27.7	25.1	28.2℃	

- *1 各国概況(外務省)
 - *2 世界の国々一覧表(外務省)
 - *3 世界年鑑 2000(共同通信社)
 - *4 最新世界各国要覧 10 訂版(東京書籍)
 - *5 理科年表 2000(国立天文台編)
 - *6 World Development Indicators 2001 (WB)
 - *7 BRD Membership List (WB)
 - IMF Members Financial Data by Country (IMF)
 - *8 Universal Currency Converter
 - *9 Government Finances Statistics Yearbook 1999 (IMF)
 - *10 Human Development Report 2000,2001 (UNDP)
 - *11 Country Profile (EIU)、外務省資料等
 - *12 United Nations Member States
 - *13 Statistical Yearbook 1999 (UNESCO)
 - *14 Global Development Finance 2001 (WB)
 - *15 International Financial Statistics Yearbook 2000 (IMF)
 - *16 世界各国経済情報ファイル 2001 (日本経済情報サービス)
- 注: 商品輸入については複式簿記の計上方式を採用しているため
支払い額はマイナス表記になる

	ブルキナ・ファソ
	Burkina Faso

わが国における ODA の実績 (資金協力は約束額ベース、単位: 億円) *17					
項目 \ 暦年	1995	1996	1997	1998	1999
技術協力	1.22	0.97	1.14	2.62	5.18
無償資金協力	17.75	6.00	18.44	26.36	14.29
有償資金協力					
総額	18.97	6.97	19.58	28.98	19.47

当該国に対するわが国 ODA の実績 (支出総額、単位: 百万ドル) *17					
項目 \ 暦年	1995	1996	1997	1998	1999
技術協力	1.06	0.90	1.07	1.60	3.81
無償資金協力	5.60	13.94	7.17	7.25	
有償資金協力					
総額	6.66	14.85	8.24	8.85	28.18

OECD 諸国の経済協力実績 (支出総額、単位: 百万ドル) *18					
	贈与(1) (無償資金協力・ 技術協力)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)+(3)	その他政府資金 および民間資金 (4)	経済協力総額 (3)+(4)
二国間援助 (主要供与国)	227.8	-1.2	226.6	-6.4	220.2
1. France	66.8	-2.6	64.2	-6.9	57.3
2. Germany	42.1	0.0	42.1	0.5	42.6
3. Netherland	34.2	0.0	34.2	0.0	34.2
4. Japan	8.8	0.0	8.8	0.0	8.8
多国間援助 (主要援助機関)	75.9	91.5	167.4	-1.9	165.5
1. EC			65.3	0.0	65.3
2. IDA			52.5	0.0	52.5
その他	0.8	2.6	3.4	0.0	3.4
合計	304.5	93.0	397.5	-8.4	389.1

援助受入窓口機関 *19
技術協力: 外務省 無償: 外務省 協力隊: 外務省

* 17 わが国の政府開発援助 2000(国際協力推進協会)

* 18 International Development Statistics (CD-ROM) 2000 OECD

* 19 JICA 資料

資料－5 討議議事録 (M/D)

**Procès-verbal des discussions
sur l'Étude du concept de base
pour le Projet d'amélioration de l'équipement des studios
de la Radiodiffusion Nationale
du Burkina Faso**

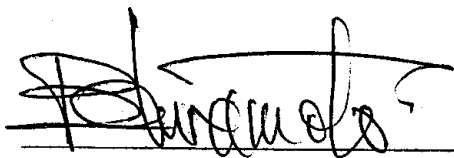
S'appuyant sur les résultats de l'Étude préparatoire, le Gouvernement du Japon a décidé l'exécution d'une Étude du concept de base pour le Projet d'amélioration de l'équipement des studios de la Radiodiffusion Nationale du Burkina Faso (désigné ci-dessous "le Projet") et a confié cette étude à l'Agence japonaise de coopération internationale (désignée ci-dessous "la JICA").

La JICA a délégué au Burkina Faso une mission d'étude du concept de base (ci-dessous désignée "la mission"), conduite par M. Bunkichi KURAMOTO, Directeur, Division de la planification, Département Aide financière non-remboursable de la JICA, qui a séjourné dans le pays du 15 au 31 octobre 2001.

La mission a eu des discussions avec les responsables concernés du Gouvernement du Burkina Faso et a effectué une étude sur place dans la zone de l'étude.

Au cours des discussions et de l'étude sur place, les deux parties ont confirmé les points principaux indiqués en annexes. La mission continuera ses travaux et établira le rapport de l'étude de concept de base.

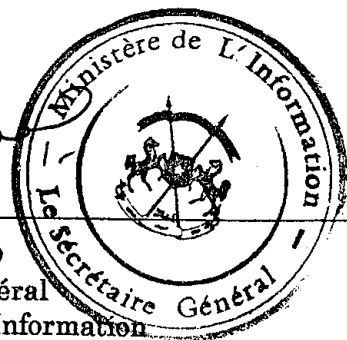
Ouagadougou, le 22 octobre 2001.



Bunkichi KURAMOTO
Chef de mission
Mission d'étude du concept de base
Agence japonaise de coopération
internationale



Adama BARRO
Secrétaire Général
Ministère de l'Information
Burkina Faso



ANNEXES

1. Objectifs du Projet

L'objectif du projet est l'amélioration de l'équipement de production des émissions de radio.

2. Sites du Projet

Les sites du Projet sont à Ouagadougou.

3. Organisme en charge et d'exécution

Le Ministère de tutelle est le Ministère de l'Information. L'organisme de supervision et d'exécution est la Direction des Etudes et de la Planification (DEP) du Ministère de l'Information.

La RNB et la RR sont chargés de la gestion, de l'exploitation et de la maintenance des équipements sous la supervision de la DEP.

Les organigrammes du Ministère de l'Information, de la RNB et de la RR figurent dans les Annexes 1, 2 et 3 du Procès-verbal des discussions signé par les deux parties le 25 juillet 2001.

4. Eléments requis par le Gouvernement du Burkina Faso

Après les discussions avec les membres de la mission, les composants suivants du Projet ont été en fin de compte requis par la partie du Burkina Faso.

(1) Radiodiffusion Nationale du Burkina (RNB)

- Equipement nécessaire à la production des émissions de radio pour les régions A, B, C et D
- Equipement de climatisation pour les Régions A, B, C et D
- Equipement pour contrôle principal

(2) Radio Rurale (RR)

- Equipement nécessaire à la production des émissions de radio pour les régions I, II et III ainsi que les salles de montage I et II
- Dispositif STL-TX (dispositif de transmission) et Dispositif STL-RX (dispositif de réception)
- Equipement de climatisation pour les régions I, II et III ainsi que les salles de montage I et II

La JICA évaluera la pertinence de la requête et fera une recommandation au Gouvernement du Japon pour approbation.

5. Système de la Coopération financière non-remboursable du Japon

La partie du Burkina Faso a bien compris le système de la Coopération financière non-

remboursable du Japon et les mesures à prendre par le gouvernement du Burkina Faso, qui lui ont été expliqués par les membres de la mission et sont indiqués dans les Annexes 4 et 5 du Procès-verbal des discussions signé par les deux parties le 25 juillet 2001.

6. Programme de l'étude

- 6-1. Les consultants poursuivront leur étude au Burkina Faso jusqu'au 31 octobre 2001.
- 6-2. La JICA établira un projet de rapport en français et enverra une mission en janvier 2002, en expliquer la teneur à la partie burkinabé.
- 6-3. Dans le cas d'une acceptation de principe de la teneur du rapport par le Gouvernement du Burkina Faso, la JICA achèvera le rapport final et l'enverra au Gouvernement du Burkina Faso pour mars 2002.

7. Autres questions pertinentes

- 7-1. Les deux parties ont confirmé que la partie burkinabé assurera une exploitation et une maintenance adaptées à l'équipement fourni dans le cadre du Projet.
- 7-2. La partie burkinabé a demandé une formation de contrepartie au Japon en matière d'Engineering de Radiodiffusion. Pour ce faire, la mission JICA a conseillé que la partie burkinabé formule une requête à part.

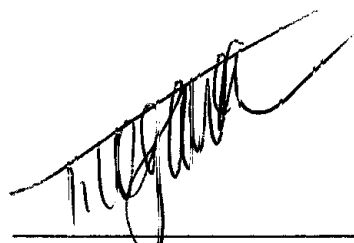
**Procès-verbal des discussions
pour l'Etude du concept de base
pour le Projet d'amélioration de l'équipement des studios de la Radiodiffusion Nationale du
Burkina Faso
(EXPLICATION DU RAPPORT ABREGÉ)**

En octobre 2001, l'Agence japonaise de coopération internationale (ci-après désignée la "JICA") a envoyé une mission d'étude du concept de base pour le Projet d'amélioration de l'équipement des studios de la Radiodiffusion Nationale (ci-après désigné le "Projet") au Burkina Faso, et s'appuyant sur les discussions, l'étude sur le terrain et l'examen technique des résultats au Japon, elle a rédigé l'ébauche du rapport de l'étude.

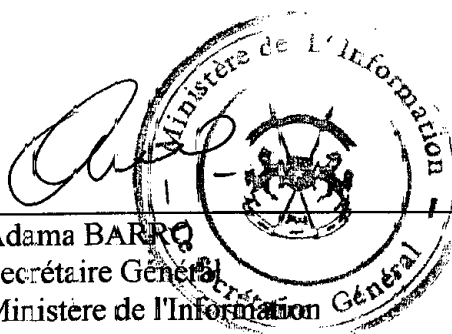
En vue d'expliquer et de consulter le Gouvernement du Burkina Faso sur les composants du rapport abrégé, la JICA a envoyé au Burkina Faso une équipe d'explication de l'ébauche du rapport (ci-après désignée "l'équipe") conduite par M. Toru TOGAWA, Représentant résident du Bureau JICA de Côte d'Ivoire, du 7 au 15 janvier 2002.

Suite à ces discussions, les deux parties ont confirmé les points principaux indiqués en annexe.

Ouagadougou, le 14 janvier 2002.



Toru TOGAWA
Chef de mission
Equipe de l'étude du concept de base
Agence japonaise de coopération
internationale



Adama BARRQ
Secrétaire Général
Ministère de l'Information
Burkina Faso

ANNEXE

1. Composants de l'ébauche de rapport

La partie du Burkina Faso a reconnu et accepté en principe les composants de l'ébauche de rapport et les spécifications détaillées des équipements de l'ébauche expliqués par l'équipe.

2. Système de la Coopération financière non-remboursable du Japon

Le Burkina Faso comprend le système de la Coopération financière non-remboursable du Japon et les mesures nécessaires à prendre par le Gouvernement du Burkina Faso qui lui ont été expliqués par l'équipe, et sont indiquées dans les Annexes 4 et 5 du Procès-verbal des discussions signé par les deux parties le 25 juillet 2001.

3. Programme de l'étude

La JICA achèvera le rapport final conformément aux articles confirmés et l'enverra au Gouvernement du Burkina Faso pour février 2002.

4. Autres questions pertinentes

4-1. L'équipe a remis un exemplaire de l'ébauche des spécifications détaillées de l'équipement à M. Adama BARRO, Secrétaire Général, Ministère de l'Information.

Burkina Faso. Les deux parties ont reconnu le caractère confidentiel de cette ébauche des spécifications, qui ne doit pas être copiée ni communiquée à aucune autre partie extérieure.

4-2. La partie du Burkina Faso achèvera les travaux suivants avant le commencement des travaux d'installations prévus dans le Projet:

- Nettoyage et nivellement du terrain pour l'installation des équipements de climatisation
- Procédure et annonce de l'arrêt de la radiodiffusion pour les travaux d'installation
- Retrait de l'équipement existant renouvelé par le Projet.

4-3. La partie du Burkina Faso assurera un budget suffisant et le personnel nécessaire pour le fonctionnement et l'entretien de l'équipement fourni par le Projet, y compris l'entretien périodique, après l'achèvement du Projet.

4-4. La partie du Burkina Faso prendra les mesures nécessaires pour exempter les ressortissants juridiques et physiques japonais impliqués dans le Projet des frais de douane, des taxes internes y compris la taxe à la valeur ajoutée, et d'autres prélèvements physiques qui peuvent être imposés au Burkina Faso concernant la fourniture d'équipement, de matériaux et de services sous les contrats vérifiés en consultation du Ministère de l'Economie et des Finances (Direction Générale de la Coopération/DEGECOP) et les autres organismes concernés.

4-5. La partie du Burkina Faso accepte que l'équipement fourni soit déchargé au port de pays voisins, par exemple, d'Abidjan en République de Côte d'Ivoire, etc. et livré sur le site du Projet, et exécutera les procédures nécessaires pour l'exemption de taxes et le dédouanement, si nécessaire.

4-6. La partie du Burkina Faso a accepté que les documents officiels nécessaires à l'exécution du Projet soient rédigés en anglais ou en français, comme le montre le tableau ci-joint.

AB

Etude du concept de base pour le Projet d'amélioration de l'équipement des studios de la
Radiodiffusion nationale au Burkina Faso

[Proposition pour la combinaison des textes en anglais et en français lors
de l'exécution du Projet]

Voici ci-dessous la proposition pour la combinaison des textes en français/anglais à présenter
à la partie burkinabè lors de l'exécution du Projet.

N°	Article	Rédacteur	Langue	
			Français	Anglais
1.	Documents connexes à l'Accord de consultation			
1.1	Accord de consultation (document à vérifier)	Consultant	<input type="radio"/>	
1.2	Recommandation du Consultant	JICA	<input type="radio"/>	
1.3	Documents connexes à l'arrangement bancaire (B/A, A/P)	Banque	<input type="radio"/>	
1.4	Demande de paiement	Consultant	<input type="radio"/>	
2.	Documents connexes au Contrat d'exécution			
2.1	Avis d'appel d'offres dans le journal	Consultant		<input type="radio"/>
2.2	Documents d'appel d'offres			
	Volume I: Conditions de l'appel d'offres et Contrat	Consultant		<input type="radio"/>
	Partie I: Instructions aux soumissionnaires	Consultant		<input type="radio"/>
	Partie II: Formule de l'appel d'offres	Consultant	<input type="radio"/>	
	Partie III: Formule du Contrat	Consultant		<input type="radio"/>
	Volume II: Spécifications	Consultant		<input type="radio"/>
	Volume III: Dessins	Consultant		<input type="radio"/>
2.3	Documents de soumission	Soumissionnaires (Contractant)		<input type="radio"/>
2.4	Rapport d'évaluation des soumissions	Consultant		<input type="radio"/>
2.5	Contrat d'exécution (document à vérifier)	Contractant	<input type="radio"/>	
2.6	Documents connexes à l'arrangement bancaire (B/A, A/P)	Banque	<input type="radio"/>	
2.7	Demande de paiement	Contractant	<input type="radio"/>	
2.8	Certificat de paiement	Consultant, pays concerné	<input type="radio"/>	
2.9	Rapport mensuel	Contractant/consu ltant		<input type="radio"/>
2.10	Documents techniques à vérifier	Contractant		<input type="radio"/>
2.11	Manuels d'exploitation et d'entretien Note: Seules les parties principales seront en français.	Contractant	<input type="radio"/> (Note)	<input type="radio"/>

AB

資料－6 事前評価表

事業事前評価表(無償資金協力)

1. 対象事業名
ブルキナ・ファソ国国営ラジオ放送局機材整備計画
2. わが国が援助することの必要性・妥当性
<p>(1) ブルキナ・ファソ国は、90年の民主化方針を受けて、翌年に民主的に大統領が選出され、98年12月の大統領選挙でも現大統領（コンパレオレ大統領）が民主的に再選されている。同政権は、深刻な経済困難による援助の必要性から先進諸国との関係を重視し、また、トーゴの民主化支援、ニジェールのトアレグ紛争解決支援等の地域安定化にも貢献している。</p> <p>(2) 経済面では、世銀・IMFとの間で経済構造調整を合意しており、財政不均衡や民間部門の強化、公共部門の縮小等に取り組んでいる。わが国は、同国の構造調整努力を支援するためのノン・プロジェクト無償資金協力を99年までに合計11億円供与した。</p> <p>(3) わが国は、ブルキナ・ファソ国の民主化、経済改革努力を支援するために、基礎生活分野を中心に援助を検討する方針であるが、同国が債務救済措置の適用を受けており、円借款の供与が困難であるため、無償資金協力および技術協力により援助を実施することとしている。また、わが国は、ブルキナ・ファソ国が作成したPRSPの実施・モニタリングプロセスに積極的に関与していく方針である。</p> <p>(4) わが国は、ブルキナ・ファソ国から植物油、綿実等を輸入（99年輸入額783万ドル）、同国にオートバイ、自動車、鉄鋼等を輸出している。（同輸出総額1,158万ドル）なお、98年10月のTICAD IIの会議に際しコンパレオレ大統領が来日した。</p> <p>(5) ブルキナ・ファソ国は代表的な16の言語が存在し、非識字率は77%（2000年）である。また、新聞等の発行数が約2万部/1日と少なく、テレビ放送はテレビの購入価格も高いため普及率が低い。このためブルキナ・ファソ国では周辺国で働く国民を含め、保健衛生、農業、教育などの情報入手手段として、ラジオ放送の果たす役割は非常に大きい。</p>
3. 協力対象事業の目的（プロジェクト目標）
協力対象事業は、社会経済情報ならびに保健衛生、農業、教育等の情報をラジオ放送により提供することで、全国民への啓蒙活動ならびに地方農村部住民の生活向上を促進することを目的に、農村ラジオ放送局（RR）および国営ラジオ放送局（RNB）による放送番組制作機能を改善することを目標とする。
4. 協力対象事業の内容
<p>(1) 対象地域 ブルキナ・ファソ国全域</p> <p>(2) アウトプット 国営ラジオ放送局・農村ラジオ放送の番組制作機材が整備される。</p>

(3) インプット

① 農村ラジオ放送局 (RR)

下記機材の調達・据付：

- ・スタジオ・副調整室 (I、II および III) 用機材：1 式
- ・編集室 (I および II) 用機材：1 式
- ・STL 送り側装置 (STL-TX) および STL 受け側装置 (STL-RX)：1 式
- ・集中型空調設備 (既設ダクトシステムを流用する)：1 式

下記機材の調達：

- ・予備品および維持管理用測定器・工具

② 国営ラジオ放送局 (RNB)

下記機材の調達・据付：

- ・スタジオ・副調整室 (A、B、C および D) 用機材：1 式
- ・マスターコントロールユニット：1 式
- ・上記スタジオ・副調整室用空調設備 (セパレートタイプ)：計 9 室用

下記機材の調達：

- ・予備品および維持管理用測定器・工具

(4) 総事業費

第 1 期工事： 概算事業費 2.29 億円 (日本側 2.29 億円、ブルキナ・ファソ国側約 29 万円)

第 2 期工事： 概算事業費 2.57 億円 (日本側 2.57 億円、ブルキナ・ファソ国側約 14 万円)

(5) スケジュール

第 1 期工事：約 12 ヶ月 (実施設計：約 3 ヶ月、機材調達据付：約 9 ヶ月)

第 2 期工事：約 13 ヶ月 (実施設計：約 3 ヶ月、機材調達据付：約 10 ヶ月)

(6) 実施体制

1) 先方責任機関：情報省調査計画局

2) 先方実施機関：国営ラジオ放送局 (RNB) および農村ラジオ放送局 (RR)

5. プロジェクトの成果

(1) プロジェクトにて裨益を受ける対象の範囲および規模

ブルキナ・ファソ国全域 (約 1,047.4 万人) およびブルキナ・ファソ国周辺地域 (周辺地域のブルキナ・ファソ国系住民は約 350 万人)

(2) 事業の目的 (プロジェクトの目標) を示す成果指標

1) RR と RNB の放送機材の更新により自主企画制作放送番組本数が増加する。

	2001 年 (実施前)	2005 年 (実施後)
自主企画制作放送番組本数	RR と RNB 合計：約 260 番組/週	RR と RNB 合計：約 390 番組/週

2) RR と RNB の放送機材の更新により自主企画制作番組放送時間が増加する。

	2001年（実施前）	2005年（実施後）
自主企画制作番組 放送時間	RR と RNB 合計：約 90 時間/週	RR と RNB 合計：約 140 時間/週

6. 外部要因リスク

- (1) ブルキナ・ファソ国が、既存送信設備の適切な運営維持管理を行い、機能維持と更新を実施する。
- (2) ブルキナ・ファソ国が、今回計画された機材の適切な運営維持管理を行い、機能維持を実施する。

7. 今後の評価計画

- (1) 事後評価に用いる成果指標
 - 1) 自主制作番組本数
 - 2) 自主制作番組放送時間
- (2) 評価のタイミング
 - 1) 事業終了後の2年後

資料－7 参考資料／入手資料リスト

収集資料リスト

調査名 ブルキナファソ国ラジオ放送局機材整備計画基本設計調査

番号	名 称	形態 図書・ビデオ・地図 ・写真等	オリジナル・コピー	発 行 機 関	発行年
1	Repertoire des Entreprises 97/98	図書	オリジナル	Chamber de Commerce D'Aindustre du Burukina Faso	1999 年
2	Bareme des Salaires 1999	図書	オリジナル	Chamber de Commerce D'Aindustre du Burukina Faso	1999 年
3	Guide des Droits de L'Enfant	図書	オリジナル	Ministere de L'Action Sociale et de la Famille Secretariat General SP-Pan/Enfance	2000 年
4	Donnees Econmicues et Sociales du Burukina Faso 1998/1999	図書	オリジナル	Chamber de Commerce D'Aindustre du Burukina Faso	1998 年
5	Donnees Econmicues et Sociales	図書	オリジナル	Chamber de Commerce D'Aindustre du Burukina Faso	1996 年
6	La Situation de la Communication Pour le Developpment au Burukina Faso Tome 1	図書	オリジナル	Burukina Faso Ministre de la Communication	2001 年
7	La Situation de la Communication Pour le Developpment au Burukina Faso Tome 2	図書	オリジナル	Burukina Faso Ministre de la Communication	2001 年
8	Projet de Budget Exercice 2001	図書	オリジナル	Burukina Faso Ministre de la Information	2001 年
9	RNB パンフレット	図書	オリジナル	Burukina Faso Ministre de la Information	1999 年
10	Analyse des Resulation du Recenment General de la Population et de l'Habitation de 1996	図書	オリジナル	Ministre de la Economie des Finances	2000 年
11	Forum Mondial de la Santé	図書	オリジナル	Origanisation Mondiale de la Santé, Genève	1996 年